



四代目けんた社長の

# ヤマモク通信

第14号  
2018年8月

■■■このヤマモク通信は私たちとご縁のあった方に隔月発行で差し上げております■■■

## ◆緊張で胃袋が痛くない…(汗)◆

こんにちは！山口木工所代表の山口研太です。ヤマモク通信第14号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

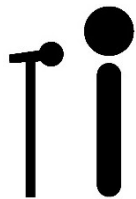
さて、地元の飛騨信用組合に“ひだしん会”というものがあり、その中に青年部会があります。

3年くらい前、その青年部の神岡地区代表理事が交代することになり、そこで頼まれて、私がその役を務めることになりました。

その青年部では年に3~4回、外部から講師を呼び、高山で講演会を行っています。神岡から高山までは遠いので、私自身、これまでほとんど参加はしていませんでした。ただ、青年部の役員は、その講演会の中でいろいろ担当をしなければなりません。講演会の司会者や懇親会の挨拶担当、中締め挨拶担当などです。そして、一番誰もやりたがらない役が、講演会が終わった直後の挨拶担当。これは、講師の方のお話を聞き、その内容を踏まえた挨拶で、さらには懇親会への誘導まで行います。事前の準備ができず、さらに参加者は100人くらいいて、プレッシャーもかかります。実は、青年部の役員になって最初の講演会の際、飛騨信の担当の方から「山口さん、やってくれませんか？」と声を掛けられて、それをやることに…。

ただ、普段、従業員の前で話す機会もよくあるので大丈夫だろうと思い、引き受けたのですが、本番での緊張は想像以上でした。極度の緊張から胃袋がギュツ！と掴まれるような痛みで襲われ、もう途中から頭が真っ白と言いますか、何を話したか記憶にありません…(汗)。

終わって数ヶ月後の次の講演会。実は、今度は私から「やる人がいなかったら」と手を挙げました。本当にプレッシャーがかかるのですが、だからこそ価値があると思い、自分自身を鍛えるべく



2、3回目も(誰もいなければと)手を挙げました。そして、実際にやってみると、少しずつ緊張も和らぎ、また少しずつ上達を実感できるようになりました。

まだまだ上手くできませんが、プレッシャーのかかる場こそ成長のチャンスだと思うので(やや億劫ですが)やる人がいなかったらまた手を挙げようと思います。

## ◆編集後記◆

今回もまた最後までお読みいただきどうもありがとうございます！さて、私は子どもの頃にサッカーをしていて、今もサッカーが好きです。なので息子にもやらせたいのですが、なかなか少年団に入ろうとしません。友達がいればとのことですが、そこにはおらず、また、今回のW杯のどさくさにまぎれてと思いましたが、まだ息子にはやらせることができていません…。山口研太

■ヤマモク通信を今後ご希望されない方は、大変お手数ですが 0578-82-0489 までご連絡をお願いいたします■

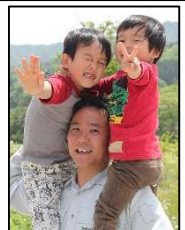
### 【発行者プロフィール】

- ◆名前:山口 研太(やまぐち けんた) ◆生年月日:1976年9月26日 ◆血液型:A型
- ◆出身地:飛騨市神岡町 ◆出身学校:斐太高校、上智大学(経済学部経営学科)
- ◆家族構成:両親・私・妻・長男(8歳)・次男(5歳)の6人家族 ◆趣味:サッカー観戦(TVで)

### 【発行元】

有限会社山口木工所 〒506-1121 岐阜県飛騨市神岡町殿 180-6

TEL:0578-82-0489 FAX:0578-82-0472 山口携帯:090-4831-9047



山口 研太